

山口県の 中小企業

SMALL BUSINESS ASSOCIATIONS OF THE
YAMAGUCHI PREFECTURE

6 2015
Jun
Vol.686



表紙写真説明

第1回どうもんGW祭り

(山口道場門前商店街振興組合)

特集 2015年版中小企業白書・小規模企業白書の概要

- 一いま、これを伝えたい!— 宇部鉄工業協同組合
- 組合等ニュース紹介
- 景況動向
- シリーズ「ものづくり補助金活用事例紹介」
株式会社ソイル・ブレーン
- 労働保険の年度更新手続等について
- 新設企業組合紹介
- 雇用確保等に関する要請がありました
- 山口県中小企業団体中央会青年部
第24回通常総会のご案内
- 若手後継者・組合青年部等交流会のご案内

中小企業・組合を応援します! ~創業・連携・運営を支援~



山口県中小企業団体中央会

いま、これを伝えたい！

新分野に進出し、地域産業の発展に貢献！

宇部鉄工業協同組合

製造業者の連携強化のために組合を設立

当組合は、戦前、宇部地域内における製造業者の連携強化並びに活性化を目指し、宇部地区の鉄工業者11社で結成されていた同業組合を前身として、昭和30年3月に組合員31社で設立されました。

業種別部会で組合活動を活性化

当組合では、業種別に製缶、仕上げ、鋳鍛造の部会を設け、それぞれの部会で情報交換・交流を図っていました。バブル崩壊後、日本経済の低迷に伴い組合員の本業である鉄工関連の業務需要が低下したため、組合員の連携と保有技術や設備が活用できる新事業分野の開拓を検討し、平成14年に「医療福祉部会」を立ち上げました。部会では幅広い分野の協賛企業を受け入れたことで様々なノウハウを共有でき、組合員同士で共通目的を掲げることで活発な意見交換が可能となり、組合自体の活性化を図るという機運を醸成しています。

ものづくり補助金を活用

先述した「医療福祉部会」では、大学病院の医師・看護師や地域の介護施設等のスタッフとの連携を図り情報交換や収集を行い、潜在的なアイデア・ニーズの具現化や試作製作を行っています。これまでに山口大学医学部、宇部工業高等専門学校と連携し、大学病院の看護師からのアイデアで、臥床したままでも使える足浴機「足あらおっ」や、無菌室で利用するための手洗器「手あらおっ」の試作開発製品化等を行ってきました。

さらに、平成24年度補正ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金を活用して骨折した患者のリハビリや高齢者が利用するための足首回転装置の製品化に取り組みました。この装置は機械に設置した靴に足を入れ、自動で回転さ



昨年10月に国際福祉機器展へ
出展（東京ビッグサイト）



開発中のくるくるゲン器

せて足首を柔らかくほぐすもので「くるくるゲン器」と命名。展示会へ出展することで細かなニーズを拾い上げ、現在は製品化前の最終調整を行っています。

宇部産ペレットストーブを開発

当組合が所在する宇部市は平成24年に市再生可能エネルギー導入指針を策定し、その中で木質バイオマスの利用促進に向け、地元産ペレットストーブの開発・製造支援を掲げています。平成24年度から当組合が中心となり、山口大学・宇部市とともに産学公連携で「宇部産ペレットストーブ」を開発しました。化石燃料ではなく木質ペレットを使用するため環境に優しいほか、燃焼効率や安全性能にも優れている点が特徴です。本年1月27日に完成発表会が行われ、山田理事長が久保田市長とともにストーブに点火しました。現在は市役所など市内6カ所に設置されており、将来的には市内の小中学校への設置が検討されています。



ペレットストーブに点火する
山田理事長（左）と久保田宇部市長

組合PR

歴史の長い当組合では、設立当初から続く共同購買事業や金融事業に取り組む一方、新たな部会を立ち上げ、新事業進出を目指すことで若手の参画が可能となり、組合の活性化が図れています。今後も、活発な活動を展開している青年部を中心に若手育成に力を入れて組合を発展させ、地域産業の発展に貢献して参ります。

宇部鉄工業協同組合

【組合概要】

- 理事長：山田 義裕
- 組合住所：宇部市岩鼻6番6号
- ☎ 0836-21-1950 FAX 0836-21-1950
- H P : <http://ube.axis.or.jp/>

【組合の主な活動】

共同購買事業、調査研究事業

特集

2015年版中小企業白書・小規模企業白書の概要

中小企業庁では、「平成26年度中小企業の動向」及び「平成27年度中小企業施策」(中小企業白書)、並びに「平成26年度小規模企業の動向」及び「平成27年度小規模企業施策」(小規模企業白書)をとりまとめ、4月24日閣議決定されましたので、その中の概要を掲載します。

2015年版中小企業白書の概要

第1部 平成26(2014)年度の中小企業・小規模事業者の動向

●我が国経済の動向／中小企業・小規模事業者を取り巻く動向

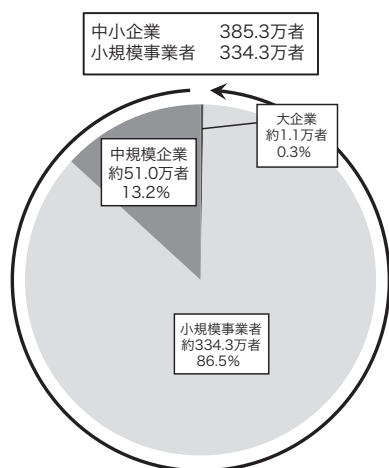
我が国経済は、アベノミクスの効果が現れ、景気が回復基調をたどる中で、2014年4月の消費税率引上げ前後で大きな変化が生じた。消費税率引上げ後、駆け込み需要の反動減の影響やその後の天候不順の影響もあり、経済は個人消費を中心に弱い動きとなった。他方で、円安方向への動きを背景とした輸出の持ち直し、企業収益の回復、雇用環境の改善も見られ、我が国の景気は、総じて見れば、足下では緩やかな回復基調が続いている。

こうした状況ではあるが、中小企業・小規模事業者は、相対的に厳しい経営環境に置かれている。消費税率引上げ後の駆け込み需要の反動減や、原材料・エネルギーコストの上昇の影響もあり、企業の業況や採算に関する指標には弱い動きも見られた。足下では、原油価格及び国内石油製品価格の下落やマクロ経済環境の持ち直しもあり、一時に比べれば改善は見られるものの、政府としては、引き続き中小企業・小規模事業者の動向を注視していく必要がある。

●中小企業・小規模事業者を取り巻く環境

また、中長期的な視点から、中小企業・小規模事業者を取り巻く環境について分析する。具体的には、まず、企業に着目し、その中長期的な収益力の変化

に関する分析を行う。その中で、企業規模が同じ中小企業・小規模事業者の間で、高収益の企業と低収益の企業の収益力の差が開いていることを示した上で、両者の違いを



検証し、高収益の企業は低収益の企業に比べて、技術開発や人材の確保・育成に対する意識が強いことを明らかにする。

次に、多くの中小企業・小規模事業者が事業を営む場である「地域」に関する分析を行う。具体的には、中長期的な地域経済の成長(付加価値生産額の伸び)を確認し、成長の度合いに応じて地域を類型化した上で、地域ごとの産業構造や人口動態等の分析を行う。その上で、「広域需要」と「域内需要」の二つの観点から、地域の実情にあった経済成長のために何が必要かについて示す。

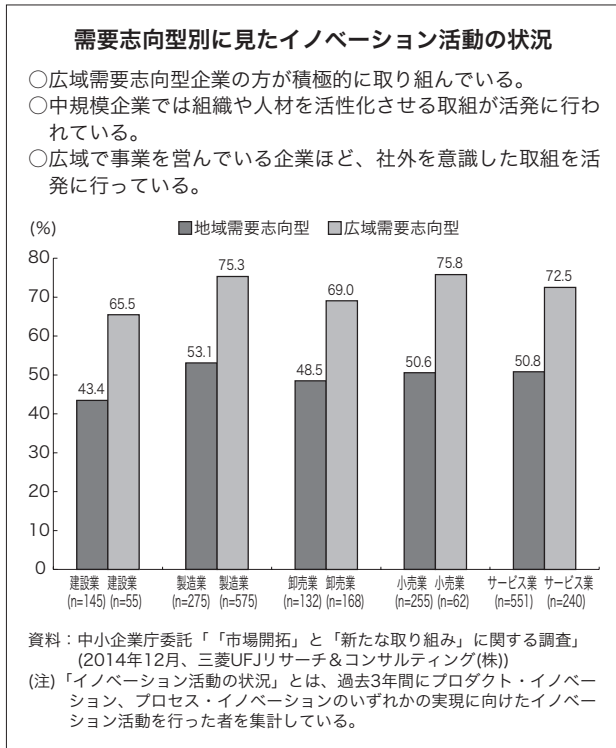
第2部 中小企業・小規模事業者のさらなる飛躍

経済のグローバル化、人口減少等の、我が国における中長期的な経済・社会構造の変化の中で、我が国の中小企業・小規模事業者が置かれた環境も変化してきている。ここで、製造業における大企業と中小企業・小規模事業者の取引環境について考えてみると、従来は、大企業と中小企業・小規模事業者との間には相互依存関係が存在し、こうした環境の中で受託加工を中心として事業活動を行ってきた中小企業・小規模事業者は、大企業が市場から獲得してきた需要の恩恵を享受してきた。しかしながら、グローバル化の進展等を背景に、大企業と中小企業・小規模事業者との間の相互依存関係は希薄化し、中小企業・小規模事業者は自ら市場と向き合い、需要を獲得する必要性に迫られている。第2部では、第1部の企業の収益力に関する分析も踏まえた上で、企業が売上を伸ばし、利益を確保していくための取組である「イノベーション・販路開拓」、「人材の確保・定着」をテーマとして取り上げる。

●イノベーション

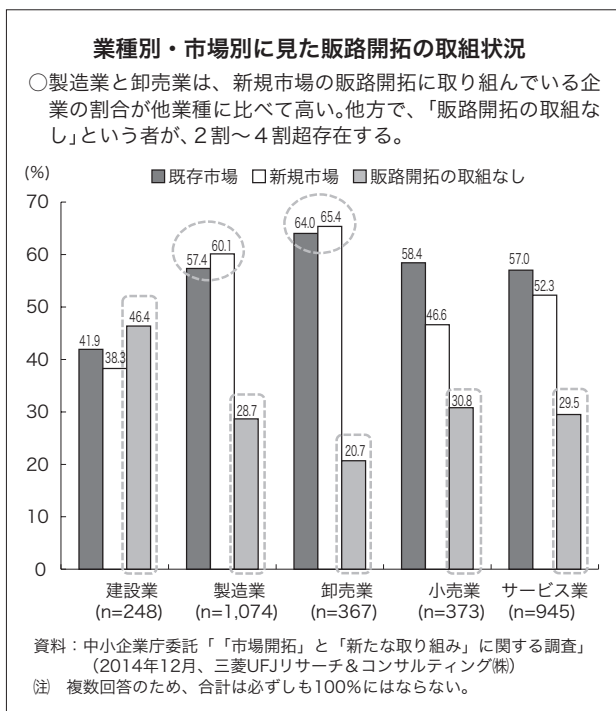
あらゆる企業にとって、イノベーションこそが成長の源泉である。しかしながら、「イノベーション」に関する取組は、比較的規模が大きく、広い商圏で事業を営む者が行うことという印象が強い。ここでは、中小企業・小規模事業者を、事業において志向する市場の広さごとに類型化(具体的には、広域での事業を志向する者を「広域需要志向型」、地域で

の事業を志向する者を「地域需要志向型」と類型化)した上で、類型ごとのイノベーションへの取組状況やその成果について、違いや共通点を明らかにしていく。さらに、企業がイノベーションに着手し、推進していくための課題についても検証する。



●販路開拓

中小企業・小規模事業者が抱える様々な経営課題の中で、とりわけ、中小企業・小規模事業者の販路開拓に対する意識は強い。しかしながら、販路を開



拓し、そこで目標とした売上を達成することは容易ではなく、とりわけ新規市場の開拓は、既存市場と比較してその難易度は高い。

ここでは、中小企業・小規模事業者の販路開拓の取組や売上目標の達成状況の把握に努めた上で、販路開拓に取り組む際の課題の分析を行い、それを通じて、自らが開拓しようとする販路、市場そのものに向き合い、把握することの重要性と、そうした取組を進める上での人材面の課題について考えていく。

●人材の確保・育成

中小企業・小規模事業者にとって、人材は何ものにも代えがたい貴重な経営資源である。しかしながら、我が国における雇用環境の改善が進む中で、中小企業・小規模事業者は、量的にも質的にも人材不足に直面している現状にある。とりわけ、企業の経営の中核を担う専門人材が、研究開発、営業、IT等、多岐に渡る分野で不足していることは、企業自身が市場と向き合い、需要を獲得していく上で、看過し難い課題といえる。

ここでは、中小企業・小規模事業者における人材に関する現状と課題について、確保(採用)、定着、育成と、段階ごとに検証していく。さらに、女性、シニア、外国人や、都市部、大企業の人材等、従来とは異なる、新たな人材の供給源についても考えていく。その際、人材の確保や育成に投じることができる人的・金銭的リソースが限られている中小企業・小規模事業者の現実を直視しつつ、地域ぐるみで人材の確保・育成に取り組むことで、そうした課題を乗り越えようとする取組の例なども紹介する。

第3部 地域を考える—自らの変化と特性に向き合う—

「地域」を中長期的な視点から考えてみると、人口減少や消費者ニーズの変化による小規模小売店の減少、グローバル化に伴う製造業事業所数の減少が生じている一方で、高齢化の進行により医療・福祉の事業所数は大きく増加している。すなわち、多くの中小企業・小規模事業者が事業を営む場である「地域」は、その構造が大きく変化してきているといえる。

また、こうした変化は、そこに住む人々の暮らしに大きな変化をもたらしており、人々が抱える課題も多様化・深刻化している。他方で、こうした状況においても、実態に応じた取組を行うことで、活性化が図られている地域も存在する。ここでは、地域資源の活用、地域の社会課題の解決という観点から、地域を活性化するための取組について、分析及び具体的事例の紹介を行うと共に、地域の実態を踏まえることの重要性と、今後の実態把握のあり方につい

て明らかにしていく。

●地域活性化への具体的取組

今日、地域経済を支える産業は多様化してきており、特定の産業が地域を牽引していくことは難しくなっている。こうした状況においては、地域に固有の資源（地域資源）の活用が重要となる。ここでは、地域資源の活用状況を把握した上で、その商品化や売り込みに関する課題を分析した上で、そうした課題を実際に乗り越えた具体的な例を紹介していく。

また、地域に住む人々が直面する課題も、見方を変えれば、その解決は、そこに住む人々が生き生きと暮らしていくこと（社会的価値の創造）や、新たな付加価値の創造やそれに伴う雇用創出（企業価値の創造）につながると考えられる。こうした取組が地域経済に与える好影響について示していくとともに、企業のみならずNPO法人もその取組の担い手たることを示していく。

●経済・社会構造の変化を踏まえた地域の対応

地域の活性化のためには、地域の実情をきめ細かく把握し、適切な対応策を講じていくことが必要である。しかしながら、地域の実情の把握は容易なことではなく、そもそも実態の把握事態を課題と考えている自治体も多く、その担い手となり得る職員も不足している。

しかしながら、発達するIT技術を使い、地域の実態を効率的に把握し、その結果を効果的に施策に反映している地域も出てきている。こうした例を紹介するとともに、政府が開発を進めてきた「地域経済分析システム」による地域の実態把握について、具体的な機能・画面に基づいて確認するとともに、その活用の可能性を検証する。

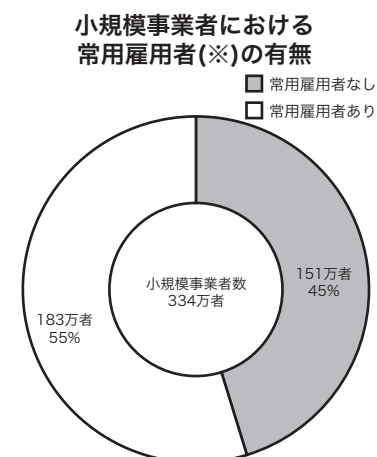
2015年版小規模企業白書の概要

小規模企業振興基本法に基づく第1回目の小規模企業白書である。

第1部第1章では、小規模事業者の実態について分析や従業者に占める親族の割合などを明らかにし、第2章では、より中長期的な観点から、小規模事業者の事業者数の推移、事業の好不調の時期などの経年的動向について分析を行う。これらを踏まえた上で、第3章で、三つの柱（効果的な経営力の向上、新しい働き方（フリーランス）、事業承継に伴う新たな取組）について分析を行う。第4章では、小規模事業者の地域との関わり合いについて分析を行う。

第2部では、時代の変化に翻弄されながらも地域とともに逞しく活動している様々な小規模事業者や支援機関の42の取組事例を紹介する。

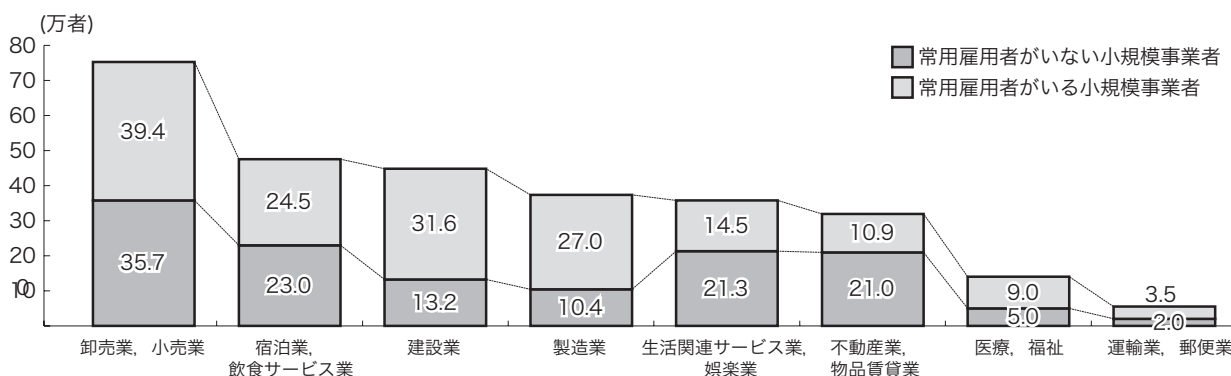
※ 小規模企業白書の対象の「小規模企業」とは、小規模企業振興基本法（第2条第1項）に定義された、おおむね常時使用する従業員の数が20人以下（商業又はサービス業は5人以下）の事業者のことである。なお、本白書の本文中では、「小規模企業」に、会社のみならず、個人事業者も含まれることをわかりやすく記すため、「小規模企業」のことを「小規模事業者」としている。



資料：総務省・経済産業省「平成24年度経済センサス活動調査」再編加工
※「常用雇用者」は、法人の有給役員、個人事業主、無給の家族従業者は含まない。

小規模事業者の業種別事業者数（常用雇用の有無別）◆業種は日本標準産業分類（大分類）による

- 小規模事業者の業種構成としては「卸売業、小売業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「建設業」、「製造業」、「生活関連サービス業・娯楽業」、「不動産業、物品賃貸業」で8割を超える。
○また、半数弱の小規模事業者が常用雇用者を雇わずに経営している。



資料：総務省・経済産業省「平成24年度経済センサス活動調査」再編加工

どうもんGW祭りを初開催！

山口道場門前商店街振興組合
(北條 栄作 理事長)

4月29日、酒と料理とジャズを楽しむ大人の祭りをコンセプトとした「第1回どうもんGW祭り」が開催されました。

山口市内に在する全三酒蔵の日本酒の試飲販売や山口市中心商店街内の飲食店による“お酒にあう”料理の提供のほか、子ども向けのスタンプラリーが用意され、大人だけでなく家族連れでの来街も多く見られました。同時にどうもんジャズフェスタも開催され、地酒、地元のおいしいものを食べながら、山口内外で活躍されている一流ミュージシャンの熱い演奏が楽しめるイベントとなりました。

なお、同商店街では、ゴールデンウィーク期間中に「東北大震災復興支援チャリティーフェスタ」も開催し、両イベントを通して多くの人出で賑わいました。



本格的なジャズの演奏が行われた

県内23番目！道の駅登録へ

しおさい
潮彩市場ほうふ事業協同組合
(貞政 芳郎 理事長)

当組合が管理運営を行う防府市新築地町の市水産総合交流施設「潮彩市場防府」が、4月15日、国土交通省中国地方整備局より道の駅に登録されました。県内23番目、防府市内では初の道の駅認定となります。

道の駅としてのスタートは10月上旬の予定で、それまでにトイレの整備や道路・観光情報の提供コーナー設置等が行われ、道の駅に必要な機能を備えます。貞政理事長は「これを機会に潮彩市場防府の魅力をさらに高め、また来たいと思っていただけるような施設にしたい」と抱負を語られました。



新酒鑑評会賞状授与式・新酒発表会を実施

山口県酒造協同組合
(原田 茂 理事長)

4月12日、岩国市で「平成26酒造年度山口県新酒鑑評会」の成績発表と賞状授与式が開催され、最優等賞に、吟醸酒の部が岩崎酒造の「長陽福娘」が、純米酒の部に澄川酒造場の「東洋美人」がそれぞれ選ばれました。その後、一般向けの山口地酒の祭典・新酒発表会も開催され、約300人の地酒ファンが参加しました。

日本銀行下関支店が5月に発表した山口県金融・経済レポートでは「山口県の日本酒製造業者は全国で唯一7年連続で生産量・出荷量を増やしている。(略)地域内に生産技術やノウハウを蓄積し、産業集積や更なる技術革新(イノベーション)を促進することに成功した。」と地域産業が活性化した一例として紹介されています。



全国初！県警と地域の安全対策に関する覚書を締結

山口県クリーニング業生活衛生同業組合
(村上 英男 理事長)

5月25日(月)、同組合は山口県警と地域の安全対策に関する覚書を交わし、防災ボランティアへのクリーニング料金の割引などに関する支援活動を実施することを確認しました。県警とクリーニング業界との覚書締結は全国初の取り組みです。

子どもの見守り活動等の自主防犯ボランティア活動に取り組む地域住民の方々を対象に同組合がクリーニング料金の割引を実施し、県警は組合に不審者情報を提供して窓口等で顧客に伝えるという内容です。同組合では年内のサービス開始を目標に掲げ、「服も街もきれいにすること」をポリシーに、社会貢献活動等により顧客の満足度を高めようと考えています。



シリーズ『ものづくり補助金活用事例紹介』 その20

『防災・予防保全につながる設備投資及び技術力の向上を基にした革新的サービスの提供』

〔技術分野〕 革新的サービス

〔類型〕 試作開発＋設備投資

〔会社概要〕 当社は、地盤環境・防災調査、調査結果に基づく解析業務を主体とする建設コンサルタントであり、受注受身産業体質から提案型企业への変革に取り組んでいます。

また、地域の特性を把握し、目的に応じた適切な提案ができる人材の育成・確保にも重点を置いています。

〔事業概要〕 近年、自然災害が多発し、また社会インフラの老朽化等により安全・安心な社会づくりへの要請が高まっています。そのため、当社は“防災・予防保全につながる設備投資及び技術力の向上を基にした革新的サービスの提供”に基づく経営戦略を考え、早く・経済的に地盤の液状化判定が可能なPDC装置の導入及び断層モデルを考慮した入力地震動作成プログラム」の整備により耐震解析力を向上させました。

今回の補助事業を活用し、県内唯一のPDC装置、断層モデルを考慮した入力地震動作成プログラム、電磁波レーダーの整備及び判定プログラムの開発を行いました。今後、防災・減災や維持管理業務は成長が期待できることや、これらの技術が自社で行える体制を整備している企業は県内にはないことから、同業他社に対して優位性を持つことができました。



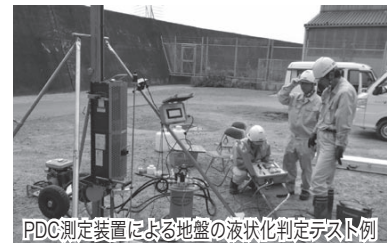
代表取締役
原田 正昭氏

株式会社ソイル・ブ레인

〒745-0802 周南市大字栗屋1035番地の6

TEL：0834-25-0031 FAX：0834-25-0049

URL：http://www.soil-brain.co.jp/



PDC測定装置による地盤の液状化判定テスト例

事業主の皆様へ

労働保険の年度更新手続等について

－お知らせ－

◎ 年度更新の手続について

労働保険に係る平成26年度分の確定保険料と平成27年度分の概算保険料の申告・納付手続は
6月1日から7月10日までの間に行ってください。

◎ 電子申請、電子納付について

電子申請を行うこともできます。また、申告書を電子申請した場合には電子納付を行うこともできます。

詳細については、電子政府の総合窓口 <http://www.e-gov.go.jp/> をご覧ください。

6・7月の2ヶ月間、山口労働局労働保険徴収室に、労働保険手続に係る電子申請体験コーナーを設置することとしておりますので、是非ご活用ください。

◎ 申告書受付相談会の開催について

県内各地において、申告書の記入相談・受理、保険料の納付などができる「申告書受付相談会」を行いますので、ご利用ください。

お問合せ先：山口労働局労働保険徴収室 ☎083-995-0366

ホームページ <http://yamaguchi-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>

月次景況調査結果

平成27年4月期

※DI値(前年同月比)＝増加・好転組合割合－減少・悪化組合割合

(表については、情報連絡員60名の他に、中央会が聞き取り等で集めた20組合のデータが加算されています。)

業種別の景況

	業 種	4 月 期	対前月比
製 造 業	食 料 品	☂	→
	織 維 工 業	☂	→
	木 材 ・ 木 製 品	☂	→
	印 刷	☂	→
	窯 業 ・ 土 石 製 品	☂	↘
	一 般 機 器	☀	↗
	輸 送 機 器	☁	↘
非 製 造 業	卸 売 業	☀	↗
	小 売 業	☂	↗
	商 店 街	☂	↘
	サ ー ビ ス 業	☁	↘
	建 設 業	☁	↘
	運 輸 業	☁	↘

4月は、食料品、一般機器、輸送機器、商店街、サービス業の一部で売上が増加している。特に水産食料品製造業の一部と旅館業ではNHK大河ドラマ「花燃ゆ」の影響で売上が伸びたとの報告である。また、依然として繊維工業、輸送機器、建設業の人手不足・技能者不足は続いている。

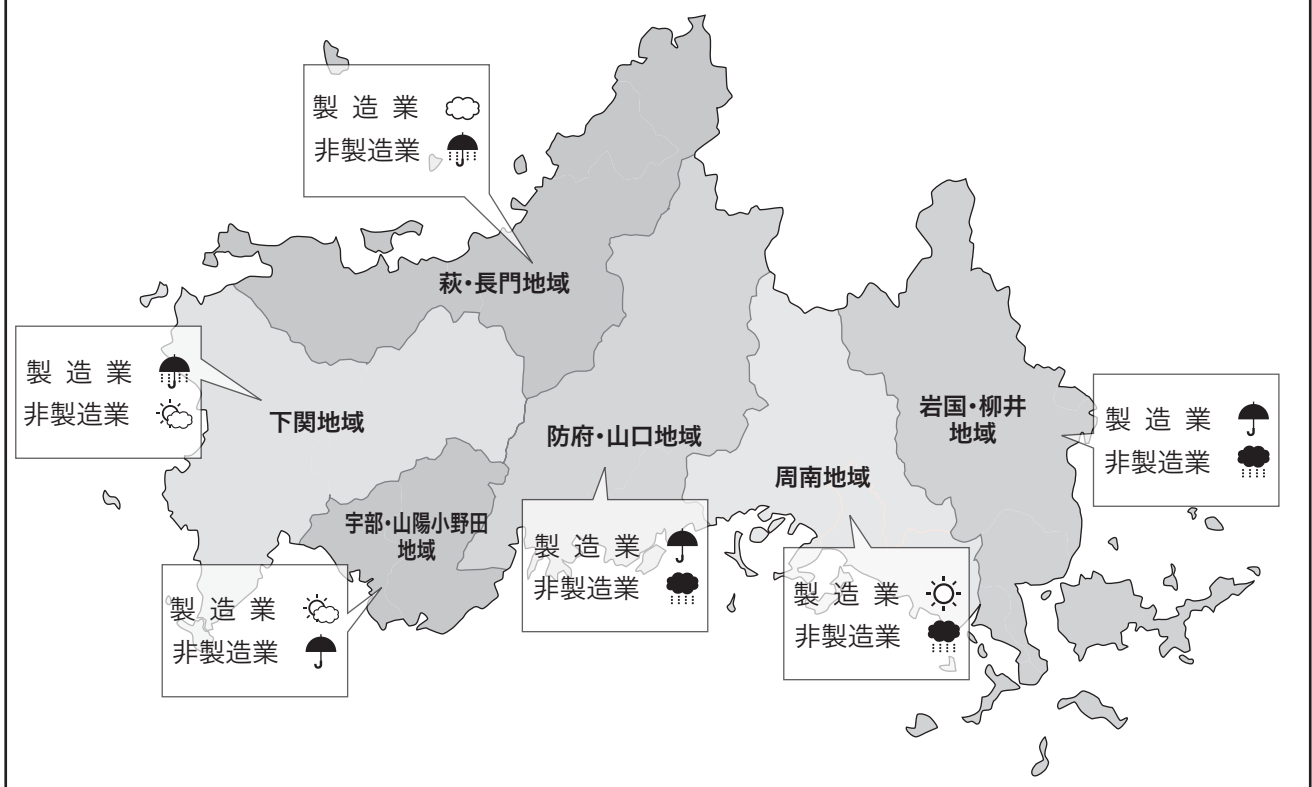
一方で、繊維工業、木材・木製品、印刷、窯業・土石製品、卸売業、小売業、建設業の一部では売上減少の報告であり、材料費の値上りや消費税増税の影響を訴える企業もある。

こうした中、「プレミアム商品券」による消費の底上げに期待する声が多い。

DI値

30以上	☀	－30以上－10未満	☂
10以上30未満	☁	－50以上－30未満	☂
－10以上10未満	☁	－50未満	☂

地域別の景況



情報連絡員報告

平成27年4月期

地区・業種を代表する県内組合の役職員60名の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ（<http://axis.or.jp/>）の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製 造 業	食 料 品	☔	○ 入学・入園記念品の注文数は例年並み。予算内で納品の記念品等には原材料の値上げ分を価格に反映しにくく、収益が悪化している。（パン・菓子製造業） ○ 国交省による全国モデル道の駅認定とNHK大河ドラマ“花燃ゆ”の効果もあり、4月は4/24現在で前年同月比+10%程度と依然好調。（水産食料品製造業）
	織 維 工 業	☔	○ 経営の厳しい組合員が以前に増して資金繰りに苦慮している。外国人技能実習生は、中国人が困難になり、今年からベトナム人を受入れる。（下着類製造業） ○ 仕事はそこそこあるが、人材不足で苦慮している。（外衣・シャツ製造業）
	木 材 ・ 木 製 品	☔	○ 新設住宅着工数は、ほぼ前年並みに回復してきたので、丸太の生産量が増え流通しはじめ、価格がやや下落傾向にある。（山口市） ○ 公共事業は前年同月と同じ程度の量である。民間事業は駆け込み需要の消化分が残っていた前年と比べると、ガクッと落ちている。（下関市）
	印 刷	☔	○ 3月に隣接県で1社、4月に県内でも1社の倒産。スマフォ広告市場が1兆円を超え、ネット広告市場が3兆円を超え、紙の情報伝達は縮小している。（印刷）
	窯 業 ・ 土 石 製 品	☔	○ 前年同月比で出荷数量は激減。災害復旧工事もほぼ完了し、今後は、入札公告の件数が減ると予想される。（砕石製造業） ○ 地域性はあるが、新規の仕事の依頼より移転やリフォーム、特に撤去の依頼が増えたように感じる。（石工品製造業）
	一 般 機 器	☀	○ プラント関連は、マレーシア、ベトナムの受注が回復したので、前年より利益が上回っている。ガソリン価格が上昇し影響を懸念している。（一般機械器具製造業） ○ 成形製品は自動車関係の長期休暇で稼働日数が少ない分、売上、稼働率とも低調であった。コスト削減を客先から要求され続けているなか、稼働効率を高め、ロスの低減、不良品撲滅に努める等、一層の努力の必要がある。（特殊産業用機械製造業）
	輸 送 機 器	☁	○ 鉄道車両、精密加工部門とも、前年同月並みを維持しており、まずまずの生産高で推移している。（鉄道車両・同部品製造業） ○ 人材不足が続いている。（船舶製造・修理業）
	卸 売 業	☀	○ 4月に入っても海苔の価格が高騰しており、全く購入できない状況が続いている。需要が落ち込んでいる。6月からのイリコの入札に期待したい。（乾物卸売業） ○ 注文が多く景気が戻ってきていると思われるが、天候不順のため魚が品薄で対応出来ず困っている。“ふく”も相変わらず品薄のため高値。（生鮮・魚介卸売業）
非 製 造 業	小 売 業	☔	○ 4月の商戦に特段の変化はない。地区人口が徐々に減少し、交通弱者の高齢者の購買に頼っているところが大きい。7月4日から2割お得のプレミアム商品券に、一過性かもしれないが期待している。（各種商品小売業 岩国市） ○ 前年の消費税増税時より売上、客数は既存店ベースで上回っているが、SC全体では前年度中の退店が影響し、下回っている。（各種商品小売業 長門市）
	商 店 街	☔	○ 消費税増税後、回復基調は見られず、各店舗〈業種〉とも売り上げの確保に苦労している状況が続いている。6月からのプレミアム商品券に期待する。（山口市） ○ 季節に関係のある業種では一時的に売上が少し上がった。プレミアム商品券の販売がアーケード内でもあり、何年か振りに買い物に来たという客もいる。（萩市）
	サ ー ビ ス 業	☁	○ 地元宴会等の動きも良く、NHK大河ドラマ“花燃ゆ”効果もあって観光客が増加傾向で前年同月の売上げを超えている。ビジネスホテルなども客室稼働率・室単価など概ね好調であった。（旅館業） ○ 前年は3月末に消費税増税前の駆け込み需要の反動もあって4月の売上が落ちたが、今年は通常の4月と同等となった。（普通洗濯業）
	建 設 業	☁	○ 太陽光発電の申請38件（前年105件）、オール電化の申請48件（前年117件）。大幅な減少は消費税増税前の駆け込み需要が要因と思われる。（電気工事業） ○ 米軍岩国基地以外は工事量が減少しているように思われるが、技能者の減少により人員の余剰感はない。（左官業）
	運 輸 業	☁	○ 飲料用缶が軽量な材質へ変更され積載量が増加し、車両不足もほぼ解消されてきたが、燃料費が3.26円値上がり、経営を圧迫している。（一般貨物自動車運送業） ○ 主要燃料のLPGの購入単価は先月と同額で、高騰していた前年4月分には比べ25%安価。前年4月は運賃改定で料金メーターの改造作業費用が必要であったが今年は無く、一時的に収益が良く見える。（一般旅客自動車運送業）

新設企業組合紹介

最近、任意グループから企業組合へ法人化する設立相談が増加しており、4月から5月にかけて企業組合の設立が相次いでいます。今回は、中央会が支援して新たに設立された5組合を紹介します。



企業組合しゃくなげ

理事長：林 定子

住 所：周南市大字鹿野
上2945番地の1

設立日：4月21日

事 業：農産加工品の製造
及び販売

主な商品：かしわ餅、おはぎ



企業組合あぶホームメイド

理事長：伊藤 節子

住 所：阿武郡阿武町奈
古2249

設立日：5月1日

事 業：農産加工品の製造
及び販売

主な商品：キウイジャム



企業組合廣田養蜂場

理事長：廣田 道久

住 所：下関市秋根新町
13番24号

電 話：083-256-7725

設立日：4月14日

事 業：養蜂業、蜂蜜製品の製造及び販売

主な商品：下関産天然生蜂蜜



企業組合^{こま}木間加工センター

理事長：原川 久美子

住 所：萩市大字山田636
番地1

電 話：0838-27-0200

設立日：4月23日

事 業：農産加工品の製造及び販売

主な商品：豆腐、味噌



企業組合アグリアートジャパン

理事長：松浦 奈津子

住 所：山口市阿東徳佐
中4034

電 話：0120-866-725

設立日：5月14日

事 業：農産加工品の製造及び販売

主な商品：もちぺっこ、田楽米



企業組合制度Q&A

Q 企業組合って何？

- ・ 個人等が4人以上集まって、互いに資本と労働力（技能）を持ち寄り、自らの働く場所を創造する法人組織制度です。

Q 最近できた制度なの？

- ・ 中小企業等協同組合法に基づく中小企業組合のひとつで、60年の歴史を持つ制度なんです。

Q 主なメリットは？

- ・ 組合自らが生産・販売活動の主体となって市場取引を行え、どんな事業でも実施でき、利益追求が可能です。行政庁が認可するため社会的信頼性が高くなります。
- ・ 組合員が一人一票の議決権を持ち平等性があります。

Q 全国にはどんな組合があるの？

- ・ 6次産業化、大学発ベンチャーなどにより、農産加工販売をはじめ、訪問看護サービス、保育サービスなど地域や社会への貢献を志向する社会的企業活動を行う組合が増加しています。

Q どんな人が企業組合を設立しているの？

- ・ 女性や高齢者、大学の研究室関係者など事業経験の少ない個人が設立するケースが増えています。

ご相談は無料です！まずは山口県中央会までご連絡ください！ ☎ 083-922-2606

山口県知事、厚生労働省山口労働局長、山口県教育委員会教育長より 雇用確保等に関する要請がありました

5月19日(火)、小松原正俊山口労働局長、阿野徹生県商工労働部長、原田尚山口県教育委員会教育次長が本会を訪ねられ、若者、障害者、高年齢者、離職者等の雇用確保に積極的に取り組むとともに、新規学校卒業者の職場定着にも最大限の努力を行い、さらに女性の活躍に向けて積極的に取り組むよう要請がありました。

つきましては、本会会員組合・組合員企業の皆さまには、趣旨をご理解の上、雇用確保等に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

なお、大企業等では求人が増加していることから、求人予定のある企業におかれては、早めに当会またはハローワークへご相談ください。



- 1 若者の雇用確保
 - ・新規学校卒業予定者の正規採用枠の確保
 - ・卒業後3年以内の未就職卒業者の新卒枠での応募機会の確保
- 2 女性の活躍促進
 - ・ポジティブ・アクションの推進
 - ・仕事と子育て等の両立に向けた環境づくりの推進
- 3 障害者、高年齢者の雇用確保
 - ・障害者雇用率の引上げに対応した障害者の積極的な雇用確保
 - ・希望者全員が65歳まで働ける高年齢者継続雇用の積極的な取組
- 4 離職者の雇用確保
 - ・離職者に対する門戸拡大、雇用確保の積極的な取組



山口県中小企業団体中央会青年部

第24回通常総会

日時：平成27年7月17日(金) 15:30～16:20

場所：ホテルサンルート徳山

周南市築港町8-33 ☎0834-32-2611

会員の皆様のご出席をお待ちしております。

若手後継者・組合青年部等交流会

今回のセミナーのテーマは、すべての業種においてきわめて重要な役割を果たす「値決め」です。

創業した企業を上場まで導き、売上200億円、時価総額300億円強まで発展させた経験を持つ田中 英司氏を講師に招き自らの成功体験に基づき、企業の成長に必要なノウハウをたっぷりと語っていただきます。

『安くしなければならぬ』『安くしないと売れない』そんな先入観や固定概念をお持ちの方、『高収益企業を作りたい』と考えておられる皆様、ぜひご参加ください。

開催日

平成27年7月17日(金)

会場

ホテルサンルート徳山

内容

講演 16:30～18:00
懇親交流会 18:15～19:45

受講料

無料(懇親交流会は6,000円)

講演

脱! 繁盛貧乏

～儲かっている会社の上手な「値決め」とは～

講師

田中 英司氏

GPC-Tax本部 会長
一般社団法人銀行融資プランナー協会 代表理事



お問い合わせ先：山口県中小企業団体中央会 連携支援第一課（小倉／花田） ☎083-922-2606

今月のさわやかレター



しおさお
潮彩市場ほうふ振興事業協同組合
山下 祐果さん

防府市の潮彩市場ほうふ振興事業協同組合で主に情報発信を担当されている山下祐果さんにお話を伺いました。

山下さんは組合職員になられて2年目で、組合ホームページの管理やLINE等でイベント情報を発信されています。土日のイベント時などお客様と接することが多いため、笑顔で親切丁寧に接客し、また潮彩市場に来て頂けるように心掛けているそうです。

休みの日は「ドライブしたり友人と会ったりして過ごしています」とのこと。

組合のPRをお願いしたところ、「当組合が指定管理を行う潮彩市場防府は10月に道の駅となります。6次産業化として開発中の“まめアジコンフィ”の完成など様々な取り組みを通して、潮彩市場防府の魅力アップに努めていきたいです」と笑顔で答えていただきました。

バナー広告募集中！

山口県中央会ホームページのトップページは現在、年間約12万回のアクセスがあります。組合や商品のPRやイメージアップにぜひご活用ください。

詳しくはこちらをご覧ください！
<http://axis.or.jp/banner>

山口県中央会 バナー広告



編集後記

今月号もご愛読ありがとうございます。5月に真夏日を観測するなど、暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。山口県中央会が入居する施設では、現在毎週土日を利用して空調工事が行われています。金曜日の夕方にはパソコンや書類など机の上の荷物を片付け、月曜日の朝に元に戻すという作業が4週間繰り返します。書類が山積みの職員は大変！しかし、机の上がすっきりと片付いた月曜日の朝は、なんだか仕事がかどるような気がします。日々、整理整頓を心掛けたいものですね。（平田）

山口県中小企業団体中央会

〒753-0074 山口市中央4丁目5番16号
山口県商工会館6階

☎ 083-922-2606 Fax 083-925-1860

HP <http://axis.or.jp/>

印刷製本 株式会社 桜プリント社